

会 員 各 位

令和 7 年 9 月 2 6 日

公益社団法人八幡薬剤師会
会 長 有 吉 浩 文

令和 7 年度第 6 回八幡薬剤師会学術研修会のご案内 (第 22 回市立八幡病院薬薬連携講習会)

平素より、本会事業にご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
今回は第 22 回市立八幡病院薬薬連携勉強会として、下記の内容で研修会を開催いたします。
保険薬局勤務薬剤師と北九州市立八幡病院勤務薬剤師の親睦を深めるとともに、薬物治療に
関しての研鑽が目的となっております。
受講のお申し込みは、10 月 10 日(金)までお願いいたします。

記

日 時： 令和 7 年 10 月 17 日(金) 19:30～21:05

場 所： 八幡薬剤師会館および web 研修(Zoom 配信)

内 容： ①連携充実加算と特定薬剤管理指導加算 2 について

北九州市立八幡病院診療支援部薬剤課 薬剤課長 原田 桂作 先生

②胃がんの化学療法について

北九州市立八幡病院診療支援部薬剤課 副薬剤師長 山内 健太郎 先生

③地域のがん患者を支えるための薬局機能

八幡薬剤師会薬局 大石 博美 先生

要 旨： ①がん薬物療法を受けている患者の薬物治療の有効性と安全性の向上の観点から、保険薬局と連携し、「服薬情報提供書(トレーシングレポート)」を運用している。現状と今後の更なる連携のために運用状況を概説する。

②昨年度末に「胃癌治療ガイドライン 2025 年 3 月改訂 第 7 版」が発刊され、「2021 年 7 月改訂 第 6 版」から約 4 年ぶりの改訂となった。切除不能進行・再発胃癌の一次治療に、抗 CLDN18.2 抗体のゾルベツキシマブ、免疫チェックポイント阻害薬のニボルマブ、ペムブロリズマブを使用したレジメンが「推奨されるレジメン」に追加されるなど、胃癌においても新規レジメンが登場している。本発表では胃癌のレジメンを紹介するとともに、レジメン管理など当院のがん化学療法に関わる活動についても報告する。

③現在、日本人の 2 人に 1 人が、一生のうちにがんと診断を受けると言われており、がん治療は国民にとって極めて重要なものであり、その中で薬物療法が必要な役割を果たしている。さらに、外来で化学療法を受ける患者も増加しており、それに伴って薬局での内服抗がん剤や支持療法に係る薬剤の調剤も増えるなか、薬局薬剤師のがん患者への関わり方も重要になっている。当薬局での対応の経験から、がん患者はがんの診断を受け、外科手術～入院しての治療の後、外来での治療(薬物療法・支持療法)～治療と緩和ケアの同時進行～緩和ケアといった転帰をたどることが多く、その治療の場も入院～外来治療～外来治療と在宅療養の同時進行～在宅での看取りと変化していく。このような社会環境の中で、薬局が備えるべき機能について、実例とともに紹介する。

受 講 費： 八幡薬剤師会正会員(A 会員・B 会員)と学生：無料
他地区薬剤師会会員：500 円
非会員：3,000 円

申 込 み： 【参加登録】八幡薬剤師会会員・八幡地区非会員・直方鞍手薬剤師会会員の方は、下記 URL または QR コードから日薬研修プラットフォームにお申込みください。



<https://nichiyaku.manaable.com/login>

※受講費を納められた直方鞍手薬剤師会会員・非会員の方には、プラットフォームよりメールが届きます。

受講費振込先：福岡ひびき信用金庫 本店営業部

普通 1073984 公益社団法人八幡薬剤師会

単 位： 日本薬剤師研修センター研修単位 1 単位

- ・ Zoom へのログインは、必ずご自身のお名前をお願いいたします。
- ・ 19 時 30 分までにログインしていない方、途中退出の方、継続したログインが確認できない方、司会より退出の連絡がある前にログアウトした方は、受講単位の認定は行えませんので、ご注意くださいようお願いいたします。

以上